## 「路面温度が下がった時に苦労した」

開幕戦はF4で初めての雨の岡山と いうことで予選を失敗してしまったん ですけど、決勝では追い上げていって 3位になれました。それがすごく自信 になって次のレースから4連勝できて、 特に鈴鹿ではずっと勝てていたんです。 今回のレースは2分1秒台に入ってい ますが、夏場って2分5秒台のレース じゃないですか? そういう時の対応



能力とか、すごく良かったんで、レー スもぶっちぎれたりしたんですが、こ の冬場にきて……。こないだの富士も そうでしたが、路面温度が下がった時、 全体的に良くなかったかなという気が します。どっちかと言うと、みんな夏 場の方が苦労するんですけどね。

チームのおかげで成長もできました し、最後に結果を残せなかったけど、 このチームでレースできて本当に良か ったです。教えてもらってチャレンジ するたびタイムが上がっていくのは、 いままでやっていたFCJの時にはなか った、結構な驚きとかもあったんで。 ただ、今回の日本一決定戦では予選こ そいまひとつでしたが、スタートが完 壁に決まったから、決勝をしっかりま とめればいけるなと思っていたけど、 思いのほかペースが上げられなくて ·····クルマがどうとかじゃなく、自分 のスキルの問題でした。トータルで言 えば、いい1年だったと思いますが、 最後は「悔しい! | のひと言です。14 年以降の今後のことはまだ自紙なんで すが、可能性はあると思うので、この オフシーズン、頑張ります。

## 「最後の最後で悔しい思いをした」

ングで2戦出られないことは分かって いたんですが、そうであってもF4は 有効ポイント制なので、全部勝てばチ ャンピオンを獲れると信じて挑みまし た。1戦目だけ2位でしたけど、あと は全部勝てましたし、西日本シリーズ でも鈴鹿 (第3戦) はいろいろあって 2位でしたが、最後の富士では勝てた



許さなかった。ぴたりと背後に着けた788をマークし、そのまま逃けることを

では躊躇することなっ

そのまま逃げることを

一回るファステストラップ、

には石川が予選

し、コンストラクター日本一決定戦で も勝てて、すごくいい流れで来ていた んですけどね。それなのに最後、鈴鹿 のドライバー日本一決定戦で、すごく 悪い締めになっちゃって……。どうす れば1番になれるか、どうしても分か らなかったんで、そのへんをよく考え て今後につなげたいです。

F4はFCJと異なりセッティングが できるので、その部分ではいい勉強が できたんですが、最後に合わせ切れな かったので、あまり意味なかったのか なと思っちゃうんですけど (苦笑)。 スタートもいつものとおり良くなくて も、そこから順位を上げていく予定だ ったんです。ところが、最初の3周が ペース上がらなかった。理由はセット を変えて、良い方向にはいったんです が、逆にタイヤの冷えている時のバラ ンスが良くなくて。その間にだいぶ離 されてしまいました。タイヤが温まっ てきてから、ちょっとずつ追いついて いった感じでしたが、全体的に僕のス ピードが足りなかった感じです。最後 にこんな悔しい思いをするとは……今 は反省の思いばかりです。

びったり着いてもダウンフォ **果原正之が3ポジションアップの6位で** の三笠が表彰台を獲得、 ることはないので、絶対に抜けると信じ 序盤にペースが上がらず、 たです」と石川。 結局順位の入れ替えはなく初レ 最初と最後のレ ル・トゥ・ノーズ状態になる。山下が近づき、終盤には川端 苦戦を強い

||医勝を飾った。「ウイングが小さいので、|| - ||をかけられず、そのまま逃げ切って 出た。その後の石川には誰もプレッシ からかわして、 いろいろありました ースを飾れて良か

<b>●</b> 12	月7~	8日 ●鎖	<b>命鹿サーキット</b>	●晴れ/ドライ	●10周	アルミ素材を主要構造とした車両
Pos	No	Class	Driver	Type	Machine	Time/Gap
1	11	A/1	石川京侍	KK-ZS	Rn-sports☆ミストKK-ZS	20'25"880
2	18		川端伸太朗	F108	SUCCEED SPORTS F108	+2"324
3	24		三笠雄一	RK01	ガレージ 茶畑 RK01	+3"137
4	14		山下健太	ZAPF108	ZAP☆JSS☆PFC☆西千葉不動産	+3"834
5	10		加藤 智	RK01	FEEL · RK01 · TODA	+17"554
6	82		栗原正之	RD10W	テクノクラフト はやぶさ F4	+23"497
7	15		三浦 愛	RD10W	EXEDY テイクファースト	+26"293
8	25		松井孝允	RK01	サムライサポーターズRK01	+26"616
9	12	A/2	久保宣夫	KK-ZS	佐藤製作所☆オートセレクトMYST制動屋	+31"767
10	70		伴 貴広	MC-090	TeamNaoki☆DUNLOP☆Ruf	+33"295
11	99	A/3	早坂公希	W006	エクシズレーシング☆CMS006	+33"762
12	36	A/4	大岩政裕	KKZS	ポイントワン髙宮商事M2ミストKKZS	+38"829
13	72		金井亮忠	NATS001	チームNATS・正義 001	+39"320
14	51		加藤正将	MC090	チームNATS・MARSracingMC	+40"007
15	44	A/5	塚田光彦	W056	ありがとうスプリント!!WEST056関口	+48"691
16	73	A/6	中島佑弥	W006	チームNATS・エクシズ 006	+57"032
17	5	A/7	鬼丸 健	KKZ-S	アルプス技研・M2・KKZ-S・K20	+1'07"784
18	13		吉田基良	RK01	B-MAX · RK01 · TODA	+1'09"719
19	37		長 優子	RK01	B-MAX · RK01 · TODA	+1'29"437
					以上 規定周回数完走:	

左:東日本シリーズ2 スの表彰式。今回のE 本一決定戦には8台出 モノコック車両の参戦 も多い。優勝した石川

てきた20歳の若手。3位で表彰台に立ったが、悔しさの方が強かったようだ。 下:3台体制で臨んだチームNATS。金井は予選5番手を得ていたが、決勝で は順位を落として13位。それがチーム最上位となった。

上: スタートで川端の先行を許してしまった三笠は12年からFCJを主戦場とし

あらかじめFCJとの日程のバッティ

は三笠をパス。その間に差を

- 秒へと広

て慌ててアクセル踏んだら、 がけず入れ替わる。「スト・

と話す川端が絶妙のダッシュで ビンをした」と言う石川が出遅れたのと この中で最も勢いに満ちていたのが石 トに賭けていた」 -ルしかけ





www.formula-racing.org

## *(ULA 4 CHAMPIONSHIP* DDOCK NEWS

AFグランプリと併せ、 決定戦が開催された。 今回ももちろん例外ではな した感は強い。 れるようになって

秒フラットだった。とはいえ、には僅差で続いていたのだが、 られる」と手ごたえ充分さをアピー 秒台の壁を破る、 強対決となるのは明らかだった。 する人がいたんで」と語るほど。こ が、砂が出ていたり飛び出していい、「もっと出そうな感じはあったい。、「もっと出そうな感じはあった rに感覚が近くて、 これを上回ったのが石川。 とはいえ、この4人 1秒917でレコー 上げ状態。三笠 どんどん攻め

**惨るとも劣らぬ好調ぶりを見せたのがシ** 

西日本チャンピオンの川端伸太朗に

パドックは大いに賑わっていた。

0)

久々の参戦となるド

その中にはスポッ

**- | 三笠雄一だった。** - ズのリベンジに燃える石川京侍、







石川がややスタートで出遅れた隙にトップに立ったのは4番手グリッドから好スタートを決めた 西日本王者の川端だった。下左:予選7番手を獲得した女性ドライバーの三浦。決勝では栗原と激戦を繰り広げ、最終的に抜かれるも7位でフィニッシュを果たした。下右:予選で10番手に沈んでしま た加藤だったが、決勝では挽回を果たして5位入賞。見事なリカバリーを見せた。

# F4ドライバー日本ー決定戦レポート 東西王者を抑えて、石川がポール・トウ・ウイン

以前に乗っていり、「F4はオー

